

活動名	団体名	大朝地域資源保全隊
大朝小学校における環境学習の推進に伴う 課題解決のための実施計画再構築事業	地域	広島県山県郡
	代表者	隊長 清水 昭
	支援金額	25万円
活動概要	<p>当団体、NPO が大朝小学校での環境学習をサポートしてきたが、人手が足りず、継続をしていくことが難しくなってきた。環境学習推進に伴う課題を解決していくこと、地域で子供を育てていくしくみづくりを考える。</p> <p>①地域全体で子供を育むための検討会(ワークショップ)の実施(8/30、3/28) ②高齢者や地域住民が参加する環境学習の実施(4/26～3/10) ③年間の環境学習の共有と住民との交流を目的とした「収穫祭」の実施(11/10)</p> <p>◆実施時期 平成 25 年 4 月 26 日～平成 26 年 3 月 28 日 大朝小学校、わさ環境公園、押山農園、保田様田んぼ</p> <p>◆参加人数 地域全体で子供を育むための検討会(ワークショップ)の実施 15 名 高齢者や地域住民が参加する環境学習の実施 大朝小 200 名 PTA100 名 地域 94 名 年間の環境学習の共有と住民との交流を目的とした「収穫祭」の実施 210 名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:619 名</p>	



菜の花刈取り



収穫祭



田植え



米販売

◆実施に伴う効果

- ・人材不足となっていた環境学習に地域の高齢者、PTA が参画するようになった。
- ・同時に頻度の多かった環境学習のカリキュラムの改善を試み、これまで同学習の運営が NPO に一任され、菜の花プロジェクトに偏っていた現状に対して、その主体を小学校側に戻し、地域環境、農業振興、多様な住民の参画を目的とした内容の修正が図られた。
- ・招待する立場になった大朝小学校の児童は、例年に比較すると保護者、地域の人が作るのではなく調理を率先して行うことができた。先生方が、児童に対しておもてなしの心の意味をよく教育されていた。

◆苦労した点

PTA の保護者にこの授業がなぜ必要なのか、理解をしてもらうため、PTAの総会、各PTCの授業の中で説明をして理解をしていただいた。授業が必要だということは、理解してはいただいたが、平日の授業の中で、仕事を休んで行うことは、難しかった。仕事を定年された祖父母などがお手伝いしていただくことになった。地域の方には、前もって日程などが早く連絡をしていくことが、必要になるため、学期ごとの計画表の作成を急ぐようにしていかなければならない。農作業が多く、ほとんどは、天候との作業になるため、作業が順延になるとお手伝いの方が減るのが、今後の課題となるだろう。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・来年度以降の環境学習において、新しい方向性が小学校、地域住民によって示され、地域で多様な人材が関わるようになるため、協力を地域の方などに声がけをしていく。また、児童の祖父母など関係の深い方には、理解を深めてもらうため、祖父母学級などの授業にしていくことを検討する。
- ・環境学習に多様な人材が参画する人々のマネジメントが新たに必要となった。
- ・学校から、学期ごとの計画表を保護者、地域の方にこまめに連絡をしていく。

◆活動を終えての感想・意見等

このたびのマツダ財団のご支援には、感謝しております。このような活動をしていくためには、ほんとうは、すべてがボランティアでできればよいのですが、かかる経費が多くなれば、規模を縮小したりして考えていかなければなりません。今の保護者は、ともかぜぎの家庭が多く、仕事を休んで行うことが難しい。この活動を行っていくための目的の部分地域の方に理解してもらうことが、今以上に必要になってくることを実感しました。今の保護者や、先生では教えられない知恵をしっかりとこの授業をつうじて教えていくことが、将来の子供たちが生きていくための知恵になっていくことを願っています。